

発行日：令和元年6月1日 発行人：社会福祉法人ライフ・タイム・福島業務改善委員会

フクチャンち サンキューボード取材記

フクチャンちでは、職員同士が「ありがとう」の気持ちをボードに書いて伝えあう取り組みをしていると聞き、取材に行ってきました！

玄関を入ってすぐ、「星さんから取材の件聞いてます、どうぞ！」と菅野君に笑顔で迎えられ、澤田さんからは「取材に来てくれてありがとう！お茶飲んでいって！」とフクチャンち伝統のカスピ海ヨーグルトでもてなされ、職員の皆さんの接遇力の高さに感動。サンキューボードに貼った付箋は掲示後各職員に配布されるとのこと。意外な発見や、「見ていてくれたんだ」といううれしい思いがあり、職員間のチームワークが高まっているとのこと。取材ご協力ありがとうございました！

メッセージ紹介

『淳一さんへ
いつもおいしいぬか漬けを作ってくれてありがとうございます。ウドも美味しかったですですね。』

澤田』



改善委×接遇委コラボ企画 朝のあいさつ運動

挨拶って、大事だと分かっているけどなかなか出来ないよね…じゃあ、強制的に(?)挨拶する時間を作ろう！という話から生まれた、初の委員会コラボ企画！

業務改善には**巧緻より拙速**(こうちよりせつそく)という原則があります。話が出たのが5/25頃、5/29の責任者会議に企画書提出、6/1に初回実施しました。

※当日の様子はフェイスブックを是非ご覧ください！

巧緻より拙速：
時間をかけて良いものを作るよりは、多少出来が悪くても迅速であるほうがいい

走りながら考え、考えながら走る



委員会からの おしらせ

1. Sannkyu-bo-do 松川・フクチャンち、吉井田の3拠点に設置中です、是非ご覧ください！

2. 公用車の区切り、看板設置完了しました！

特養運転手渡辺さんが施工して下さいました。渡辺さん、渡辺さんが工事できるよう協力いただいた特養職員の皆様ありがとうございます！

ライフ吉井田より お慶いします！

座卓・テーブルの譲り先を探しています。希望の方はライフ吉井田までご連絡ください！



挨拶やお礼は6S（しつけ）です



よい習慣は「挨拶」や「お礼」から始まります。元気な挨拶・感謝を伝えることが「習慣化」されていけば気づき力もあがり、問題も早期発見し改善・工夫が進み、やる気集団が育成されます。しつけには、「訓練する」という意味があります。挨拶もお礼も、伝わる様に意識し、自分なりに「訓練」する事ではじめて習慣化できるのです。あいさつ運動もサンキューボードも、挨拶やお礼の習慣化のきっかけにできる取り組みです。楽しみながら、取り組んでみませんか？

今月の！ちょっといい言葉

何事であれ、最終的には自分で考える覚悟がないと情報の山に埋もれるだけである。

羽生 善治 (将棋棋士)

